

報告事項1：令和4年度事業報告の件

令和4年度事業報告 要 旨

事業年度活動テーマ『Step up to the next stage』

～次のステージへ～

はじめに

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大により公益事業活動に影響を受けたが、本部・9ブロック54地方協会は事業計画の推進に取り組んできた。

J A I F Aは昭和37年に発足して60周年を迎えた。「名称変更から20周年」、「公益社団法人へ移行して10周年」と「トリプルアニバーサリーイヤー」を迎え、3つの節目が重なる記念大会を、昨年10月13日～14日にヒルトン福岡シーホークにて開催した。長野大会より3年ぶりのリアル開催となり、延べ5,800名の方にご参加頂き、業界唯一の営業職員による「公益社団法人」としてのJ A I F Aの役割や、生命保険の大切さと存在意義を再確認して頂ける機会となった。また、歴代会長や理事長をはじめ、多くの役員が、公益社団法人として事業発展のために今日までご尽力された実績や歴史、伝統を継承し、これからの10年、50年、100年と継続・成長するJ A I F Aを目指すため、60周年記念を契機として一層の飛躍に向けた第一歩の年として次のステージに向けて足跡を刻んでいけるよう、事業年度テーマを「Step up to the next stage～次のステージへ～」として活動に取り組んできた。

令和4年度の特記する点は下記の通りである。

◆創立60周年記念大会、地方協会セミナー

令和4年10月13日～14日に60周年記念式典・記念大会を盛大に開催することができた。また、各地方協会では、新型コロナウイルス感染症の影響は受けたが、セミナーの対面開催と同時にWebを活用してのハイブリッド開催とするなど事業活動の継続に努力を続けた。

◆ITの活用と促進

IT公益推進委員会を中心として、学習帖サイトのログインの仕様の改善を図るとともに、学習帖の提供頻度を見直し、ホームページアクセス数のモニタリングを継続しながら、一般消費者向けコンテンツの充実を目指す方向性を明確にした。更に、J A I F A公式LINEもスタートさせ広報誌「Present」最新号の更新状況の発信も行った。

◆会員増強

これまでのコロナ禍における活動自粛等の影響と営業職員が減少していることもあり2.3%の減少となった。

◆愛のドリーム募金

会員1人1日10円を募金し、高齢者福祉施設等に福祉巡回車「愛のドリーム号」を贈呈するなどの活動を行っている愛のドリーム募金は、生命保険の日である1月31日に全国一斉贈呈式を実施する方針の下、例年どおり、全国54地方協会の大宗において一斉に挙行了した。

◆ハートフルファンデーション支援

会員1人の年会費に500円が加えられることにより基盤が強化されたハートフルファンデーション基金

は、地方協会長やハートフル・コーディネーターの連携により、突発的災害への迅速支援として被災地が求める物資の支援等を行った。

「未来ある子どもたち」への支援として、平成29年度以降継続支援してきた3団体に対する支援も引き続き行った。また、ウクライナの「困難な状況にあるウクライナの子どもたちに役立たせる」ための支援として令和3年度未会員数39,557名×100円の支援も行った。

令和4年度の公益社団法人としての事業詳細については下記のとおり報告する。

■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- （1）消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- （2）地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- （3）消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- （4）その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていきようにしていくことを誓う。

■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次統一セミナーは、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益社団法人として不特定多数の利益実現を図るという、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している（2022年度開催「創立60周年記念大会 in 福岡」：全体で5,800名参加）。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、参加者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、

様々な形での社会貢献活動（リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など）ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて

（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

J A I F Aは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決すること。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

①公益法人団体が実施する行事への参加（人的支援）

公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 全国各地の主催行事へ参加

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 全国各地の主催行事へ参加

②広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」12年継続

公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 21年継続

■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

社会貢献活動事業は、J A I F Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、J A I F A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、27年間で6億309万4203円、福祉巡回車愛のドリーム号は467台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援に関わる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。

「かけがえのない命とその命を育てている地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の2点について継続的に実施しており、令和5年度でも実施予定である。

① 未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及と共に未使用のテレフォンカードを手元に保管している人は少なくない。これを収集しボランティア支援に活かしている。このほか切手・はがき等の支援も増えてきた。

② タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。一般企業から協力も頂いている。

更に「愛のドリーム募金」の拡充と活動の周知をはかるため、令和元年度より、毎年、生命保険の日（1月31日）に併せて「愛のドリーム募金」贈呈式を全国地方協会にて一斉に挙げていく活動を取り入れた。この活動は恒久事業として毎年継続していく。

また、令和4年度は創立60周年記念事業として、下記の2団体を支援した。

①公益財団法人日本パラスポーツ協会

各都道府県にある障害者スポーツ協会や種目別の協会を取りまとめる組織で、全国規模の障がい者のスポーツ大会を開催・奨励している。パラスポーツの普及に役立てていただくため、100万円の支援をさせていただいた。

②「特定非営利活動法人 そだちの樹」

児童養護施設や里親の元から離れた若者の自立を支援する「アフターケア事業」への支援を検討し、60周年記念大会の開催地である福岡県で「アフターケア事業」を行っている「そだちの樹」へ、60万円を支援させていただいた。

■ハートフルファンデーション支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

1. 未来ある子どもたちへの継続支援

平成24年の設立からの5年間「年度ごとの期限を定めた支援」として毎年500万円相当の寄贈も続けてきた実績から、「年度ごとの期限を定めた支援」に代わり「未来ある子どもたち」に焦点をあて継続して支援をしていくことで、子どもたちが安心して治療に専念できるような活動を展開してきた。令和4年度も下記3団体へ合計500万円の支援をさせていただいた。

また、終息が見えず子どもたちへの長期的な影響が懸念されている「困難な状況にあるウクライナの子どもたちのための支援」として、令和3年度末会員数39,557名×100円（3,955,700円）ウクライナ大使館を経由して支援をさせていただいた。

継続支援実績（平成29年度に継続6年目の支援）

①「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」（100万円）

全国の病院を訪問して闘病中の子どもたちを笑顔にする活動をしている団体で、全国に約150名のクラウン(道化師)が活動しており、小児病棟に入院している子どもたちがいる、日本全国96の病院を定期訪問している。病院への定期訪問の他、被災地での活動への支援させていただいた。

②「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」（200万円）

病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に12施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。

③「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」（200万円）

命に関わる難病の子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもたちの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。

2. 突発的災害への支援

全国各地で突発的に大災害が発生しており、全国の地方協会に1名ずつ登録いただいているハートフル・コーディネーターと地方協会長とが被災状況等を把握し相談のうえ、支援内容について本部ハートフルファンデーション委員会と連携する体制をとっているため、被災地が必要としている物資支援や要望に対して下記の通り支援し役立てていただくことができた。

万一の大災害時に、「JAIFらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約2,000万円規模の原資が積み立てられ、会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられた。改めて感謝申し上げるとともに、引き続き公益法人としての社会貢献活動として負託に応えていくこととしている。

◆「令和4年8月の豪雨」への支援

令和4年8月に加賀地方に全記録的な大雨が降り続き、河川の氾濫、土砂災害に伴う道路の損壊、建物の浸水などの甚大な被害が発生した。災害直後に石川県協会のハートフル・コーディネーター及び地方協会長と連携体制をとり、被災地の社会福祉協議会や避難所等で必要としている物資を確認し、サーキュレーター・ダクト6セット、タオル、軍手等を支援し役立てていただいた。

◆「台風14号被害」への支援

九州地方を中心とした台風14号による被災地域に、大分県協会と宮崎県協会のハートフル・コーディネーターと地方協会長を中心として、社会福祉協議会に連携を図った。被災地で必要としているものを確認し、安全靴、ショベル、トイレセット、土のう袋、作業用ゴム手袋等を作業備品として支援させていただいた。

また、地方協会からの支援要請先として推薦を募った結果、児童養護施設を出る子どもたちを支援する団体である「一般社団法人コンパスナビ」について推薦があったため、財務諸表等を確認のうえ30万円支援をさせていただいた。「未来ある子どもたち」への支援先として広く推薦をあげてもらえるようなスキームを構築していくこととした。

最後に、年次大会にて恒例となっている「LEDバッジを活用した募金活動」は、募金額にハートフル基金を加え、60周年記念大会の開催地である福岡県と福岡市に「未来ある子どもたちへ役立たせるため」の支援として100万円ずつ寄附をした。

ハートフルファンデーション 募金経過報告書

2023年3月31日

前年度末繰越金		89,560,610	
収入		支出	
①年会費からの収入	19,348,000	①突発的災害支援	1,305,474
令和4年度会費38,664名[@500]	19,332,000	令和4年8月豪雨への支援	319,426
令和3年度以前の会費32名[@500]	16,000	台風14号被害への支援	617,590
②寄付金等	29,300	福島県沖地震への追加支援	368,458
一般		②福岡県・福岡市(未来ある子どもたちへの支援)	2,000,000
③JAIFA創立60周年記念大会in福岡募金 (一口1,000円以上募金LEDバッジ)	2,452,051	③未来ある子どもたちへの継続支援	5,000,000
		NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会	1,000,000
		公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス	2,000,000
		公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	2,000,000
		④困難な状況にあるウクライナの子どものための支援 (令和3年度末会員数39,557名×100円)	3,955,700
		⑤一般社団法人 コンパスナビ	300,000
		⑥LEDバッジ制作費	897,600
		⑦振込手数料・残高証明書発行代	2,465
合計	21,829,351	合計	13,461,239
		年度末残高	97,928,722

■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

J A I F Aが連携する海外協会であるN A I F A（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）との交流をはかり、生命保険に関する研究を重ねると共に、やがて、J A I F Aが諸外国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる公益組織の見本となるようこれからも展開していく。

■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

令和4年度は、これまでのコロナ禍による活動自粛や、営業職員高齢化等による退職者増などの影響により対前年度比2.3%の会員減少となった。

事業年度	会員数	増加数	増加率
平成16年	27,998名		
17年	29,019名	1,021名	3.6%
18年	29,248名	229名	0.8%
19年	30,538名	1,290名	4.2%
20年	30,576名	38名	0.1%
21年	31,598名	1,022名	3.3%
22年	31,770名	172名	0.5%
23年	31,812名	42名	0.1%
24年	32,412名	600名	1.9%
25年	33,775名	1,363名	4.2%
26年	34,044名	269名	0.8%
27年	34,890名	846名	2.4%
28年	36,449名	1,559名	4.3%
29年	38,476名	2,027名	5.3%
30年	38,876名	400名	1.2%
令和元年	39,334名	458名	1.2%
2年	38,897名	▲437名	▲1.2%
3年	39,557名	660名	1.7%
4年	38,664名	▲893名	▲2.3%

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員としている。生保業界の環境変化の中、代理店に所属する営業職員に対してもJ A I F Aの事業活動を広報しつつ入会促進している。生命保険会社に所属する会社に比して代理店は来店窓口型も多く、一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々安心して生命保険への理解を深めていただけるように取り組む。

■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「プレゼント」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。

今後も更に健康情報や生活に役立つ知恵などの記事を掲載していく。また、一般の方に目にいただくよう公共機関などへの配布も推進する。

広報活動については、JAIFAの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「QRコード」などを活用し、このほかDVDやパンフレットなどのツールを活用していく。

●2022年4月号

- ・特集 第1回 プライベートを充実させる！初心者でもできるガーデニング
- ・連載 第1回 世界を変えた大発明 プラスチック
- ・第84回 ゼロから学ぶ税金講座 「18歳成人」で変わること
- ・第232回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「家族を想って」
- ・第61回 社会保険Q&A 新年度の年金、0.4%減額だが……
- ・第121回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～心の栄養になる言葉を使う～
- ・第117回 心のかげはし 休むのがもったいない 活動すればいいことがある 提案の種まきを増やし、常に前倒しの活動を実現
- ・第133回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 成人年齢が18歳に引き下げ お金の面ではどんなことが変わる？
- ・第46回 想いをつなぐ 学びを伝承して後輩たちに伝えていく活動
- ・お役立ち情報 新型コロナウイルス感染症と保険金・給付金

●2022年5月号

- ・特集 第2回 プライベートを充実させる！ 仕事に趣味に活用しよう！「オンライン学習」
- ・連載 第2回 世界を変えた大発明 ワクチン
- ・第85回 ゼロから学ぶ税金講座 「賃上げ促進」—— 残念な税制
- ・第233回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生命保険を通して見えた家族への思い」
- ・第62回 社会保険Q&A 任意継続か国保か —— 退職後の医療保険
- ・第122回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～ちょっとした一言・行動を変えてみる～
- ・第203回 お客様からの感謝の声 退院後は苦労しましたが、家族と仲間のおかげで幸せな日々を送っています
- ・第134回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 60歳でiDeCoに加入。短期間では意味がない？
- ・第47回 想いをつなぐ 未来ある子どもたちのためにできることを考え、行動に移していきます
- ・第46回 JAIFA VOICE タオル1100本を社会福祉協議会へ寄贈しました
- ・タオル・メガネ・カード類収集へご協力をお願い

●2022年6月号

- ・特集 第3回 プライベートを充実させる！ インターネットからの情報収集と検索
- ・連載 第3回 世界を変えた大発明 GPS
- ・第86回 ゼロから学ぶ税金講座 節税を支える損益通算という仕組み
- ・第234回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「家族の安心を支える生命保険」
- ・第63回 社会保険Q&A 任意継続被保険者のやめ時

- ・第123回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～自分の感じ方を大切にする～
- ・第118回 心のかげはし 自分を試したくて始めたセールス 独学で失敗しながら学ぶ 自分の目標だけでなく みんなの目標も一緒に達成したい
- ・第135回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 日本全国で約1400億円分ものポイント・マイルが失効している？
- ・第48回 想いをつなぐ 社会福祉法人 須賀川市社会福祉協議会へ「愛のドリーム募金」を寄贈しました
- ・第47回 JAIFA VOICE 地元サッカークラブとコラボし、防災グッズを寄贈しています
- ・「JAIFA創立60周年記念大会 in 福岡」の開催に関するお知らせ

●2022年7月号

- ・特集 第4回 プライベートを充実させる！ 野菜の効果を知って健康生活に活かそう！
- ・JAIFA 第52回 定時総会報告
- ・全国会長会議報告
- ・第136回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 最大2万円分のマイナポイント 申込を忘れずに！
- ・第235回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「“まさか”はすぐそこに」
- ・第64回 社会保険Q&A 在職中、毎年10月分から年金増額
- ・第124回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～朝の心の整理術を取り入れる～
- ・第204回 お客様からの感謝の声 次男が小学6年生で脳腫瘍を発症。生命保険と看護休業のおかげで治療に付き添えました
- ・第87回 ゼロから学ぶ税金講座 損益通算できるかできないか
- ・第49回 想いをつなぐ 児童養護施設へドリーム号・寄附金の贈呈を行いました
- ・第48回 JAIFA VOICE ドリーム募金、タオルの寄贈を各社協力のもと毎年欠かさず実施しています！

●2022年8月号

- ・特集 第5回 プライベートを充実させる！ スマホでかんたん！動画撮影に挑戦
- ・連載 第4回 世界を変えた大発明 インターネット
- ・第88回 ゼロから学ぶ税金講座 損益通算の例外と「例外の例外」
- ・第236回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「祖父からの贈り物」
- ・第65回 社会保険Q&A パートの社会保険加入が拡大
- ・第125回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～自分の“好き”を大切にする～
- ・第119回 心のかげはし 代理店営業という選択～誰かのために役立つ仕事を目指して～
- ・第137回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ かえって生活費が高くなる？意味のない節約に要注意
- ・JAIFA創立60周年記念大会 in 福岡 参加者募集開始のご案内

●2022年9月号

- ・特集 第6回 プライベートを充実させる！ 料理を楽しめば、人や地球にも良い効果が！？
- ・連載 第5回 世界を変えた大発明 ラジオ
- ・第89回 ゼロから学ぶ税金講座 何が違う？—— iDeCoとNISA（前編）

- ・第237回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「ロイヤルストレートフラッシュと生命保険」
- ・第66回 社会保険Q&A 75歳で後期高齢者に、年下の妻の健康保険は？
- ・第126回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～意志ある心の声が主役～
- ・第120回 心のかげはし お客様のドラえもんになりたい～個々のお客様にあわせた情報提供をするための工夫～
- ・第138回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 使い方に気をつけて！クレジットカードの信用力が落ちる行為
- ・2022年JAIFA年次大会 in 福岡 参加者募集開始のご案内

●2022年10月号

- ・特集 第7回 プライベートを充実させる！ スマホの写真を整理して、スッキリと！
- ・第76回 生命保険の月に寄せて
- ・第90回 ゼロから学ぶ税金講座 何が違う？ —— iDeCoとNISA（中編）
- ・第238回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「あーちゃんの“思いやり”」
- ・第67回 社会保険Q&A 遺族年金が支給されない？
- ・第127回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～誠実さが伝わるひと言を加える～
- ・第205回 お客様からの感謝の声 46歳で突然天国に旅立った夫。今も家のどこかで家族を守ってくれているでしょう
- ・第139回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 上がり続ける電気代。節約のポイントはここ！
- ・第50回 想いをつなぐ コロナ疲れを音楽で癒したい
- ・第49回 JAIFA VOICE メガネ回収のボランティアで200個を超えるメガネが集まりました！

●2022年11月号

- ・2022年JAIFA創立60周年記念 21理事・監事、9ブロック長からのメッセージ
- ・第140回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 得したつもりが損をする？ふるさと納税5つの注意点
- ・特集 第8回 プライベートを充実させる！ 本を読もう！読書の楽しみ
- ・連載 第6回 世界を変えた大発明 ペニシリン
- ・第91回 ゼロから学ぶ税金講座 何が違う？ —— iDeCoとNISA（後編）
- ・第239回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「愛のカタチ」
- ・第68回 社会保険Q&A 妻死亡で夫は遺族年金が受給できるか？
- ・第128回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～今日をやさしい気持ちで終える～
- ・第206回 お客様からの感謝の声 5年間の結婚生活は夫の闘病の日々。生命保険のおかげで二人の思い出が作れました
- ・第51回 想いをつなぐ 「タオル1000本運動」で感謝状をいただきました
- ・第50回 JAIFA VOICE 地域の将来を担う子どもたちの居場所づくりのために

●2022年12月号

・特集1 レポート

J A I F A 創 立 6 0 周 年 記 念 大 会 i n 福 岡 O p p o r t u n i t y ～ 次 を 見 据 え よ う ～

・特集2 祝！J A I F A 創 立 6 0 周 年 記 念 歴 史 と 活 動 を 振 り 返 り、次 の ス テ ー ジ を め ぎ そ う ！

創 立 6 0 周 年 に よ せ て 理 事 長 金 井 敬 司 / J A I F A の 歴 史 / J A I F A 年 次 大 会 開 催 記 録 / J A I F A 会 員 数 の 推 移 / J A I F A の 社 会 貢 献 活 動

・連載 第7回 世界を変えた大発明 全身麻酔

・第92回 ゼロから学ぶ税金講座 年末調整ってなに？

・第240回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「親の想いと生命保険」

・第69回 社会保険Q&A 「産後パパ育休」で休みやすくなる？

・第129回 桐生純子の愛されカコミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～来年を素敵に迎える準備～

・第141回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 億万長者も誕生！宝くじ付き定期預金

・第51回 J A I F A V O I C E J A I F A を 常 に 身 近 に 感 じ て い た だ け る 活 動 を 意 識 し て い ま す

●2023年1月号

・新春対談 Step up to the next stage ～次のステージへ～

浅尾 美和さん<元プロビーチバレー選手> 金井敬司<J A I F A 第 1 3 代 理 事 長 >

・連載 第8回 世界を変えた大発明 殺菌

・第241回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「備えよ常に～父の教え～」

・第60回 中学生作文コンクール 入賞者表彰式

・生命保険会社社長より新年のご挨拶

・第93回 ゼロから学ぶ税金講座 確定申告、しなくてもいいけれど…

・第70回 社会保険Q&A 出産時にもらえるお金

・第130回 桐生純子の愛されカコミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～描いた自分からスタートを決める～

・第207回 お客様からの感謝の声 闘病しながらも穏やかに暮らしていた母。生命保険加入が最後の親孝行になりました

・第142回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ お金の貯まらない財布にありがちな5つの特徴

・第52回 想いをつなぐ 難病を患った子どもとご家族が心安らげる場所を広めたい

・第52回 J A I F A V O I C E 新たなことにチャレンジするフットワークの軽さと現状に満足しない食欲さ

●2023年2月号

・特集 第9回 プライベートを充実させる！モノを片付けて、スッキリ生活を実現！

・連載 第9回 世界を変えた大発明 コンピュータ

・第94回 ゼロから学ぶ税金講座 贈与税の基本のキ 改正の前に知っておくべきこと

・第242回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「誰も知らない「保険」」

・第71回 社会保険Q&A 40歳が境目の遺族厚生年金

・第131回 桐生純子の愛されカコミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～自分を幸せにする4つのStep～

・第121回 心のかげはし お客様の将来の見通し、ありたい姿を具体的にイメージできるように示して解決策を考えていきます

- ・第143回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 112万人が放置！？企業型DCの「自動移換」に注意
- ・第53回 JAIFA VOICE 公益的なイベントへ参加し、JAIFAの活動意義などを周知広報活動しています
- ・2023 JAIFA年次大会 in 神奈川 参加者募集のご案内

●2023年3月号

- ・特集 第10回プライベートを充実させる！生活習慣を見直して健康アップ！
- ・連載 第10回 世界を変えた大発明 株式
- ・第95回 ゼロから学ぶ税金講座 基礎控除導入で精算課税が有利に？
- ・第243回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「相互扶助と愛のカタチ」
- ・第72回 社会保険Q&A 30歳—遺族年金のもう一つの境目
- ・第132回 桐生純子の愛されカコミュニケーション術【素敵な人がやっている小さな習慣】～豊かな朝時間のはじめ方～
- ・第208回 お客様からの感謝の声 71歳で咽頭がんを発症。長年妻任せだった生命保険の重要性を実感しました
- ・第144回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ国税の「Pay払い」が可能に メリットと注意点は？
- ・タオル・カード類収集へご協力をお願い
- ・2023 JAIFA年次大会 in 神奈川 参加者募集のご案内

1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして110回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

1. 健康増進や先端医療のテーマ

◆開催事例

- ①宮本 一（開成宮本歯科医院 副院長）
『スポーツ歯科から健康寿命の延伸を』
- ②半田 えみ（EMI CLINIC院長）
『これからのガン治療～世界に追いつく日本～』
- ③笠間 節子（ローズ）（一般社団法人瞬笑コミュニケーション協会 代表理事）
『“笑い”が「カラダ」と「ココロ」に効く！「ローズのハッキリ体操」講座』
- ④吉野 裕司（石川県立中央病院 診療部長）
『知っておきたい 新しい乳ガン治療のリアル』

2. 生きがいを考えるテーマ

◆開催事例

- ①青木 さやか（ワタナベエンターテインメント タレント）
『青木さやかの生き直し術～死んでもできる親孝行～』
- ②木下 晴弘（株式会社アビリティトレーニング 代表取締役）
『あなたと大切な人がより豊かな人生を送るためにおすすめしたい5つの捉え方』
- ③デヴィ・スカルノ（タレント）
『人生のモチベーション』
- ④VITA（等身大株式会社 代表取締役）
『等身大で幸せになる秘訣』
- ⑤ゴルゴ松本（お笑い芸人）
『いのちの授業』

3. 教育・人格形成テーマ

◆開催事例

- ①Dr まあや（脳外科医、ファッションデザイナー）
『「二足の草鞋を履くDr まあやの生き方」～ネガティブ思考を強みに変える女医の法則40～』
- ②小林 さやか（フリーランス）
『不可能を可能に変える5つの法則～やってみなきゃわかんないしょ～』

- ③中野 信子（脳科学者・医学博士・認知科学者）
『「運」を科学する～運がいい人の行動パターン～』
- ④森本 琢磨（龍馬の生まれたまち記念館 学芸員）
『龍馬の人生から学ぶ』
- ⑤堀内 真弓（一般社団法人ハッピーコンシェルジュ協会代表理事）
『片付けで暮らしを整えるお悩み解決セミナー』

4. ライフプランの設計支援テーマ

◆開催事例

- ①吉澤 諭（株式会社吉澤相続事務所代表取締役）
『残された家族のために事例で学ぶ失敗しない相続対策』
- ②飯塚 泰雄（社会保険労務士、NPO法人障害年金支援ネットワーク理事）
『知っておきたい公的保険～障害年金』
- ③小西 清香（整理収納アドバイザー）
『生前整理のおトクな話～片付けるとお金が貯まるって本当?!～』

5. 経済や金融などの知識向上テーマ

◆開催事例

- ①パクンマクン（お笑いコンビ）
『お金にまつわる笑劇的国際交流』
- ②風間 晋（フジテレビ解説委員）
『アメリカの今から世界を変える』
- ③厚切りジェイソン（お笑い芸人）
『ジェイソン流お金の増やし方』

ブロックセミナー

<北海道ブロック>

令和4年11月21日（月） web配信
杉村 太蔵 『人生は何が起きるかわからない【太蔵流チャンスをつかむ技術】』

<東北ブロック>

令和4年11月18日（金） 盛岡八幡宮 参集殿 ハイブリッド開催
中島 正裕 『ついに相続税節税の切り札「生前贈与」が封じ込められる？今後の対策を考える』

<関東甲信越ブロック>

令和4年 7月 8日（金） 茨城県立県民文化センター ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール
ハイブリッド開催
荒木 大輔 『荒木大輔の野球から学んだたくさんの魅力～一問一答インタビュー～』
田中ウルヴェ京 『ストレスをやる気に変える方法～コーピング～』

<首都圏ブロック>

令和5年 1月 7日（土） 埼玉県立武道館 第二道場
『パラスポーツ運動会』

<近畿ブロック>

令和4年11月 7日(月) ヒルトン大阪 5階「桜の間」 ハイブリッド開催
a k a n e 『ゼロからイチを生み出す力』
鳥谷 敬 『想い・目標達成のプロセス』

<中国ブロック>

令和4年10月30日(日) 岡山大学第二体育館
佐藤 友祈 『パラスポーツ運動会』

<四国ブロック>

令和4年 9月10日(土) w e b 配信
大西 信文 『保険営業から四国遍路世界遺産へ』
桂 こけ枝 『こけ枝の日々是笑日』

令和4年12月 7日(水) 松山市総合コミュニティセンター キャメリアホール
吉田 沙保里 『迷わず進む勇気 夢を実現するために私が続けていること』

2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

社会貢献事業

■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「Present」では、裏表紙に、生命保険の日（1月31日）に併せて全国一斉に「愛のドリーム募金」贈呈式を挙行了活動に掲載した。令和5年3月31日現在までの総累計金額は、6億309万4,203円である。

■ボランティア団体主催の諸行事に参加

ガンに立ち向かう人々のための公益財団法人日本対がん協会のリレー・フォー・ライフや、知的発達障害のある人々のための公益社団法人スペシャルオリンピックス日本などへ、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した台風や地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

3. 調査・提言事業（その他の事業）

諸団体との連携・交流等事業

・令和4年 6月21日(火) アンダーライティング学院運営委員会に事務局が出席した。

- ・令和4年 6月24日(金) 第51回TLC（生命保険協会認定FP）会総会に根本副理事長が出席した。
- ・令和4年 9月 7日(水) アンダーライティング学院第48期入学式に事務局が出席した。
- ・令和4年10月 5日(水) 生命保険修士会第48回定時総会に金井理事長が出席した。
- ・令和4年10月26日(水) アンダーライティング学院会計監査に右見理事が出席した。
- ・令和4年12月15日(木) アンダーライティング学院運営委員会に事務局が出席した。
- ・令和5年 1月 4日(水) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に金井理事長と事務局が出席した。

国際連携事業

■NAIFA年次大会

恒例となる米国NAIFA年次大会は、2020年～2022年の3年連続で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止となった。

NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客様や一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。

日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事であり、その活動には国境がありません。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深く、私達が米国の生命保険制度を学ぶ意味を活かしていくことが重要である。

政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

令和5年度税制改正に関する要望項目について

令和4年10月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、10月25日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

◎人生100年時代を迎え、少子高齢化の急速な進展や働き方・ライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度については、社会保障制度の見直しに
 応じて、現行制度を拡充することー所得税法上および地方税法上の生命・介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円および3.5万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも15万円とすること（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）

《その他の要望項目》

I. 企業年金保険関係

- 確定給付企業年金制度において、現行のとおり拠出限度額を設定しないこと
- 確定給付企業年金制度における中途引出し（脱退一時金）の在り方の検討にあたって、現行のとおり中途引出しを認めること
- 確定給付企業年金制度について、欧米における閉鎖型DBのバイアウト等のように、企業の年金支給義務を移転させる仕組みを導入するための措置を講ずること
- 企業型確定拠出年金制度における退職時の中途引出し（脱退一時金）について支給要件を緩和すること

II. 生命保険契約関係

- 遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

令和5年1月27日（金）KKRホテル東京において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会を開催された。

4. 管理部門

組織の現状

令和4年度末の会員数は38,664名となった。前年令和3年度末会員数39,557名と比較すると893名の減少となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は17協会であった。地方協会別会員数は、別表（52～54ページ添付）資料の通りである。

会員増加17協会

苫小牧・帯広・青森県・福島県・埼玉県・三重県・滋賀県・京都府・鳥取県・岡山県・徳島県・愛媛県・福岡・北九州・佐賀県・熊本県・宮崎県

諸会議の開催

① 理事会

第1回 令和4年 4月18日（月）午後1時～午後2時40分 明治安田生命 丸の内支社 1階会議室
議 題 I. 決議事項 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件 第2号議案 令和3年度決算承認の件 監査報告含 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項：第1号議案 令和3年度決算承認の件 第2号議案 監事選任の件 報告事項：1. 令和3年度事業報告の件 2. 令和4年度事業計画報告の件 3. 令和4年度予算報告の件 第4号議案 地方協会長承認の件 第5号議案 規定改定の件 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・副理事長・専務理事 2. 内部監査報告について 3. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 4. JAIFA創立60周年記念大会の開催について 5. その他

第2回 令和4年 9月 2日 (金) 午後3時～午後4時半 メットライフ生命 6階 会議室

議 題 I. 決議事項 1. 令和4年度事業推進について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 2. 地方協会長承認の件 3. 支部 (地方協会) 運営規定細則改定の件 4. その他 税制改正要望について II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 創立60周年記念大会の開催について 4. その他

第3回 令和4年 11月 4日 (金) 午後2時～午後4時 メットライフ生命 7階 会議室

議 題 I. 決議事項 1. 令和4年度事業推進について 2. 令和5年度事業計画骨子について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 支部 (地方協会) 運営規定細則改定の件 4. その他 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・副理事長・専務理事 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3. 内部監査について 4. その他

第4回 令和5年 1月 27日 (金) 午後1時～午後3時半 KKRホテル東京11階『朱鷺の間』

議 題 I. 決議事項 1. 令和4年度事業推進について 2. 令和5年度事業計画案について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 令和5年度予算原案について 4. 役員選出について 5. 地方協会長の承認と任命について 6. 規定改定の件 7. 支部 (地方協会) 運営規定細則改定の件 8. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3. 内部監査について 4. その他

第5回 令和5年 3月 3日 (金) 午後1時半～午後3時 メットライフ生命 6階 会議室

議 題 I. 決議事項 1. 令和4年度事業推進について 2. 令和5年度事業計画について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 役員選出について 4. 地方協会長承認の件 (岩手県協会) 5. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

② 委員会

IT公益推進委員会 推進部会

第1回【HP/JAIFA学習帖等打合せ】令和4年 7月15日 (金) 午前10時～午前11時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. HP/JAIFA学習帖更新機能追加について 2. 学習帖ログインパスワード生成方法の変更 3. 学習帖のコンテンツ拡充案 4. スマートフォンアプリ【COAR】について

IT公益推進委員会 教育部会

第1回【教育部会・編集会議】令和4年 8月25日 (木) 午後2時～午後3時半 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和4年度事業進捗について 2. 令和5年度事業計画案 (骨子) について

3. 令和4年度広報誌「Present」の制作について 4. その他

編集会議 午後3時半～午後5時

議 事 1. 令和4年度広報誌「Present」下半期の編集内容について 2. 令和5年度
広報誌「Present」年間編集方針について 3. その他

第2回【教育部会・編集会議】令和4年11月24日（木）午後2時～午後3時半 JAIFA本部会議
室

議 事 1. 令和4年度事業進捗について 2. 令和5年度事業計画(案)について 3. 令和4
年度広報誌『Present』の制作について 4. その他

編集会議 午後3時半～午後4時45分

議 題 1. 令和4年度広報誌『Present』下半期の編集内容について 2. 令和5年
度広報誌『Present』年間編集方針について 3. その他

IT公益推進委員会 広報部会

第1回 令和4年 8月25日（木）午前10時半～午前11時35分 JAIFA本部会議室

議 事 1. 令和4年度事業推進状況について 2. 令和5年度事業計画案（骨子）について
3. その他

企画運営委員会

第1回 令和4年 4月25日（月）午後2時～午後3時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. JAIFA創立60周年記念大会in福岡の具体的進行 2. その他

【JAIFA創立60周年記念大会in福岡実行委員会】

第4回 令和4年 5月26日（木）午後1時～午後4時15分 大同生命 福岡支社 6階会議室

議 事 1. 開催プログラム等の検討 2. 今後の実行委員会開催について

第5回 令和4年 7月22日（金）午後1時～午後5時10分 大同生命 福岡支社 6階会議室

議 事 1. 開催プログラム等の検討 2. その他

第6回 令和4年 9月22日（木）午後2時～午後5時20分 大同生命 福岡支社 6階会議室

議 事 1. 「JAIFA創立60周年記念大会in福岡」について 2. 今後のスケジュール
3. その他

第7回 令和4年 11月25日（金）午後4時～午後5時 アーバン・オフィス天神

議 事 1. JAIFA創立60周年記念大会in福岡開催を受けて 2. その他

【2023JAIFA年次大会in神奈川実行委員会】

第1回 令和4年 7月 1日（金）午後1時～午後3時40分 明治安田生命 神奈川本部 19階
会議室

議 事 1. 2019JAIFA年次大会報告（ダイジェストDVD視聴）
2. 2023JAIFA年次大会 について 3. その他

第2回 令和4年11月 1日（火）午後2時～午後4時45分 明治安田生命 神奈川本部 19階
会議室

議 事 1. 2023JAIFA年次大会について 2. その他

第3回 令和5年 2月 7日（火）午後1時～午後3時半 住友生命 横浜支社 13階会議室

議 事 1. 2023JAIFA年次大会について 2. その他

社会貢献委員会

- 第1回 令和4年 7月15日(金) 午後1時～午後2時 J A I F A本部会議室【Web会議】
議 事 1. 令和4年度事業進捗と今期方針の検討について 2. その他

会員増強委員会

- 第1回 令和4年 7月26日(火) 午後3時～午後5時 J A I F A本部会議室
議 事 1. 令和4年度事業推進と進捗状況について・令和4年度会費納入者数について・会員増強について 会員数4万名へ向けて 2. ベスト・オブ・ザ・イヤー賞の選定について 3. 令和5年度事業計画(骨子)について 4. その他
- 第2回 令和4年12月13日(火) 午後2時～午後4時 J A I F A本部会議室【Web会議】
議 事 1. 令和4年度事業推進と進捗状況について ・令和4年度会費納入者数について2. 令和4年度(60周年)の会員増強・前年度比会員数増に向けての施策を考える(1月～3月期の新規会員増に向けて) 3. 今後の会員増強に向けて(中・長期的な取り組み)・J A I F A会員メリットを考える 4. 令和5年度事業計画案について 5. その他

【会員増強に関する会議】

- 第1回 令和5年 1月19日(木) 午後2時～午後4時 メットライフ生命 6階中会議室
議 事 1. 令和4年度会費増強について 令和4年度会費納入状況 各社の現況について J A I F A会員になるメリット(非会員との比較化等) 2. 役員選出について 3. その他

③ 全国会長会議

- 第1回 令和4年 5月27日(金) 午後2時50分～午後4時15分 大同生命福岡支社 6階会議室
議 事 1. 会員増強表彰式 2. 「創立60周年記念大会」について 3. 事例報告 社会貢献事業 北九州協会吉岡会長 4. パラスポーツ支援への活動提案 社会貢献委員会寺田委員(中国ブロック長、福山協会長) 5. ブロック長報告 6. その他

④ ブロック会議

<北海道ブロック>

- 令和4年 5月27日(金) 福岡県福岡市
令和4年 9月27日(火) 【Web会議】
令和5年 2月10日(金) 函館国際ホテル

<東北ブロック>

- 令和4年 5月27日(金) 福岡県福岡市
令和4年 7月11日(月) ANAクラウンプラザホテル秋田

<関東甲信越ブロック>

- 令和4年 5月27日(金) 福岡県福岡市
令和4年 6月 3日(金) 前橋商工会議所 ローズ
令和5年 2月10日(金) 明治安田生命保険相互会社 水戸支社 会議室

<首都圏ブロック>

- 令和4年 5月27日(金) 福岡県福岡市
令和5年 2月27日(月) 東京協会会議室

<東海北陸ブロック>

令和4年 5月27日(金) 福岡県福岡市

令和4年11月19日(土) 名古屋クレストンホテル

<近畿ブロック>

令和4年 5月27日(金) 福岡県福岡市

<中国ブロック>

令和4年 5月27日(金) 福岡県福岡市

<四国ブロック>

令和4年 5月27日(金) 福岡県福岡市

令和5年 3月22日(水) コンレス

<九州ブロック>

令和5年 3月10日(金) アートホテル宮崎スカイタワー

■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

令和4年度は、「本部事務局の管理体制・事務局の運営等を主体にした活動」「従来からの内部監査の延長活動」の各項目での内部監査を実施した。

内部監査 【本部事務局の管理体制・事務局の運営等を主体にした活動】

- 1 各種規程類の見直し
- 2 本部事務局の管理体制、事務についての見直し
- 3 本部事務局の人事制度・運用の見直し

【従来からの内部監査の延長活動】

- 1 地方協会幹事会、ブロック会議に参加して、その運営状況について確認

■職員の状況

本部事務局の業務にあたる令和4年度末の専従職員数は7名である。

■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟（いずれも社団法人のみ）、第三者訴訟（社団法人、財団法人共通）により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。